

高信頼・高可塑B5G/IoTテストベッド DCCS (Data Centric Cloud Service)

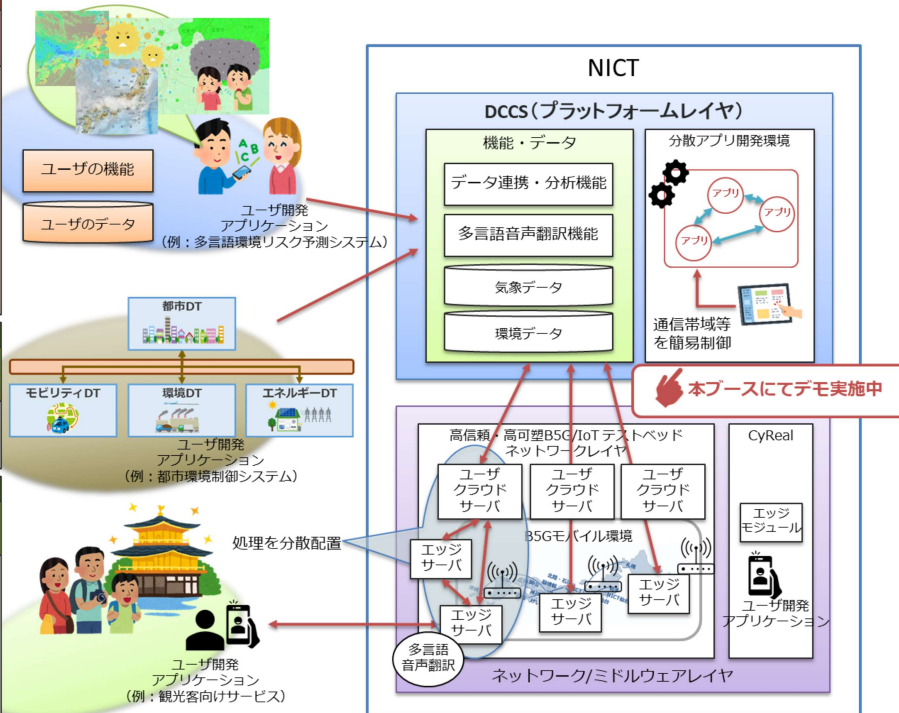
～ Beyond 5G時代の多様なデータを分析・活用したサービスの研究開発と検証のためのテストベッド ～



概要

Beyond 5G時代のICTサービスの開発検証環境として、ネットワークレイヤおよびミドルウェアレイヤと連携し、多様なデータとBeyond 5Gを活用したサービスの開発が可能なプラットフォームレイヤテストベッドの構築を進めています。

提供中
<p>新サービス創成のための開発・検証環境として</p> <ul style="list-style-type: none"> データ連携・分析機能が利用可能 ※ 相関マイニング、相関学習・予測、データアップロード、etc. 多言語音声翻訳機能が利用可能 ※ 音声認識、多言語翻訳、音声合成、ライブ音声翻訳 気象データが利用可能 ※ ひまわり画像、温湿度、日射量、風向風速、etc. ユーザー所有の機能/データとDCCS提供の機能/データを組み合わせたアプリ開発が可能 ※ 下記URLにてサンプルアプリ公開 https://dccc-trial.nictb-b5g.jp/dccc_sample_aqi/
提供準備中
<p>CPSの研究開発環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 実空間をサイバー空間に投影したデジタルツイン (DT) を複数連携動作させるCPSサービスの研究開発が可能
提供準備中
<p>エッジとクラウドが連携したサービスの研究開発環境</p> <ul style="list-style-type: none"> プラットフォーム/ミドルウェア/ネットワークの名レイヤに処理を分散配置することで、分散アプリの研究開発が可能 分散アプリ間の通信状態 (帯域、遅延等) を簡易的に制御して動作検証が可能 エッジサーバで動作するリアルタイム音声翻訳機能が利用可能



(注：本図は準備中のテストベッドの機能やデータを含みます)

特徴

- 気象・環境データやネットワークレイヤに設置したIoTセンサなどを活用したサービス開発環境を提供
- IoTデータやビッグデータを活用するデータ分析機能やAI機能をAPIとして提供
- サイバーフィジカルシステム (CPS : Cyber Physical System) の開発に必要なサイバー空間のデータ分析処理機能を提供

ユースケース

- 多言語音声翻訳を用いたアプリケーションの開発
- ユーザー所有データと気象・環境データ等を組み合わせたデジタルツイン連携サービスの研究開発
- 実空間とサイバー空間を有機的に連携することで社会課題の解決策を見出すCPSの研究開発

今後の展開

- ネットワーク/ミドルウェアレイヤとの連携を推進し、CPSサービスの開発環境を構築・提供
- CPSサービスの研究開発に必要なデータ連携・分析基盤を拡充
- CPSアーキテクチャの検証のためのBeyond 5Gサイバー空間基盤を構築

【お問合せ先】

オープンイノベーション推進本部 ソーシャルイノベーションユニット 総合テストベッド研究開発推進センター
Mail : tb-info@ml.nict.go.jp

NICTオープンハウス2024

Copyright © 2024 NICT All Rights Reserved.